

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ
						氏名

1 次の各々の式を因数分解せよ.

a) $3ab - 6ac =$

b) $2a^2b - ab^2 =$

c) $x^2 - x =$

d) $(a + b)x - (a + b)y =$

e) $x^2 + x - 6 =$

f) $x^2 - 7x + 10 =$

g) $3x^2 - 18x + 27 =$

h) $x^2 - 11xy + 24y^2 =$

i) $25x^2 - 4 =$

j) $x^3 + 8 =$

k) $x^4 + x =$

l) $3x^2 - 5x - 2 =$

2 次の除法を行い, 商と余りを求めよ. ただし, a は定数とする.

a)
$$x - 2 \overline{) x^3 - 2x^2 + 4x - 8}$$

b)
$$x^2 - 3x + 2 \overline{) x^3 - 9x + 8}$$

商 = 余り =

商 = 余り =

c)
$$2x^2 - 1 \overline{) x^3 - 3x^2 + 4}$$

d)
$$x^2 + ax - a^2 \overline{) x^3 - ax^2 - 3a^2x}$$

商 = 余り =

商 = 余り =

3 $f(x) = x^3 - 3x + 1$ とする.

a) $f(x)$ を $x - 2$ で割ったときの余りを求めよ.

$$x - 2 \overline{) x^3 - 3x + 1}$$

b) $f(2)$ の値を計算し, a) の結果と一致することを確認せよ.

4 a) 剰余の定理を利用して, $f(x) = x^3 - 3x^2 + 4$ を次の式で割ったときの余りを求めよ.

1) $x - 1$

2) $x - 2$

3) $x + 1$

4) $x + 2$

b) $x - 1, x - 2, x + 1, x + 2$ のうち $x^3 - 3x^2 + 4$ の因数になっているものを選び.

c) $x^3 - 3x^2 + 4$ を因数分解せよ.

5 $P(x) = x^3 - x^2 - 5x - 3$ とする.

a) $P(-1)$ を計算せよ.

b) $P(x)$ を因数分解せよ.

6 $6x^4 - 7x^3 - 4x^2 + 5x + 3$ をある整式 $P(x)$ で割ったら, 商は $2x^2 - 3x + 1$, 余りは $-2x + 5$ となった. 整式 $P(x)$ を求めよ.

7 例えば, 17 を 7 で割ると商は 2 で余り 3 であるが, これは $17 = 7 \times 2 + 3$ であることを意味する. 一般に, 割り算の商と余りの間には (割られる数) = (割る数) \times (商) + (余り) という関係が成り立つ. これを分数で表すと, $\frac{\text{(割られる数)}}{\text{(割る数)}} = \text{(商)} + \frac{\text{(余り)}}{\text{(割る数)}}$ という形になる. つまり, $\frac{17}{7} = 2 + \frac{3}{7}$ が成り立つ. これは分数式でも同様に, $2x^2 - 5x + 1$ を $x - 2$ で割ると商が $2x - 1$ で, 余りが -1 なので, $\frac{2x^2 - 5x + 1}{x - 2} = 2x - 1 + \frac{-1}{x - 2}$ のように表せる. 一般に分子の次数が分母の次数と同じかそれ以上である分数式は $\frac{\text{(分子)}}{\text{(分母)}} = \text{(整式)} + \frac{\text{(分母より低次の整式)}}{\text{(分母)}}$ のように整式と分子が分母より低次の分数式との和の形に表せる. 次の各々の分数式をこのように整式と分子が分母より低次の分数式との和の形にせよ.

a) $\frac{5x - 3}{x - 2} =$

b) $\frac{x^3}{x + 1} =$